

阿南市立那賀川中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

自尊感情を育み、生徒自らの考えや判断したことを表現する力の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長



【各校の取組状況の把握について】

学習アンケートや教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けようと、前向きに取り組める生徒が多い。 ●身に付けた知識・技能を関連付けることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能が身についている。	・「目標」「まとめ」カードを活用して、目標を示し、振り返り活動の工夫をする。 ・生徒が興味をもって学習に取り組むことができるよう、発問を工夫する。 ・相互参観授業週間に他学年、他教科の教員が授業参観をする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に真剣に取り組む、質問や指示されたことについて前向きに考えることができる。 ●課題解決に向け、原因・結果などを思考したり、解決方法を自らの言葉で表現したりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能をもとに活用することができる。 ・自他の考えを認め、自分の考えを根拠や理由を明らかにしながら、表現することができる。	・様々な活動にポジティブな行動支援を用いる。 ・ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や言語活動をさせる。 ・読書週間を定期的に設定し、感想を文章にまとめる活動をさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業を一生懸命に取り組む生徒が多い。 ●予習・復習等の家庭学習時間が少ない。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習状況を振り返り、自主勉強ノートを活用して、予習・復習が毎日できる。	・個に応じた指導をICT等の活用を重視して行う。 ・「学習のてびき」を参観授業や面談等を活用して、各家庭への普及に努める。 ・各教室に「学力向上コーナー」を設けて、効果的な学習法と取組方の参考になる自主勉強ノートの紹介をする。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

